



ぐんま集排だより



◆碑文 ～藤沢の川と生きてきた先代の子孫に残す今日の業かな～

富士見東部地区処理施設全景

処理施設を訪ねて

富士見東部地区農業集落排水事業組合長 大木 壬雄

富士見東部地区について教えてください。

富士見東部地区は、東側を前橋市と接し、南側は公共下水道区域に接する南北に細長いほ場整備事業により整備された都市近郊型農業地帯である。

また、豊かな自然環境・基幹道路の整備などに伴い前橋市のベッタタウンとして住宅化が進む一方、家庭から排出される生活雑排水による農業用水等の水質汚濁が進行し、水質保全・生活環境の改善が必要とされてきました。

事業への取り組みについて教えてください。

富士見村で5地区目となる富士見東部地区は、農業集落排水事業として平成7年度に採択を受け、計画戸数六一九戸、計画人口二、七七〇人、総事業費三億五千万円をもって平成12年度に事業完了いたしました。処理方式は、オキシデーションデッキ方式を採用し、建物は周辺環境に配慮した外観になっております。

また、現在稼働している5地区全ての処理施設に乾燥機を設置しており、自己完結的な農業資源とし乾燥汚泥のリサイクル(地区内農地還元)を実施しており、処理施設を資源の循環利活用型施設として位置付けております。

今後の課題等についてお聞かせ下さい。

富士見村の農業集落排水事業計画は8地区あり現在5地区の整備が完了し、今年度より6地区目となる横引第二地区の整備に着手し、平成17年度完了を目標に事業を進めています。

富士見東部地区は、平成11年10月に供用開始して、現在70%の供用率となっております。また、日常維持管理業務として年7回の処理場内の除草・清掃作業を行っており、これからは、組合員相互の連携を保ち「私たちの処理場」として、今後ともこの施設を大切に利用し、きれいな水・美しい自然を後世に伝えていきたいと思っております。



農村地域の資源循環の推進について

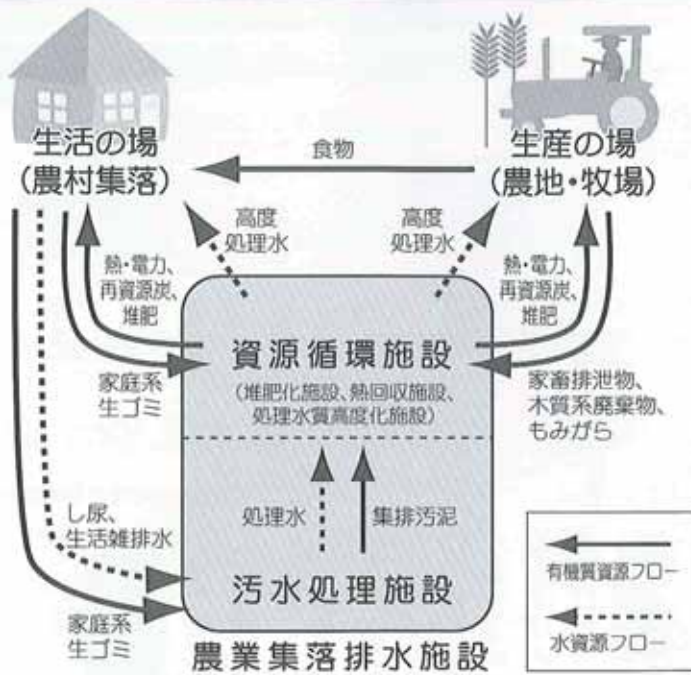
人間が生活していく以上、廃棄物が出てくるといふのは当然のことです。それでも昔の人々は、自然界の循環機能をうまく利用し廃棄物を処理していました。ところが時代が進むにつれ、自然界で分解するのが難しい廃棄物が誕生し、また、大量消費社会の発展に伴って、自然の持つ自浄能力がオーバーフローになるほどの廃棄物が発生しています。このことが、廃棄物の質及び量の面でも環境破壊に通じる社会問題の一つとなっています。

近年、限りある資源の節約や自然保護の観点も含め、環境に与える影響を少なくするために循環型社会の形成が求められています。資源の循環を推進し廃棄物を適正に処理していくためには、行政だけでなく社会全体が自分たちの問題であると認識し、取り組んでいかなければなりません。

そこで、農村地域の状況について考えてみますと、農業集落排水施設は生活排水を処理することによって、農業用排水路や公共用水域の水質保全、水洗トイレの普及など農村の生活環境の向上に大きく貢献しています。しかし、施設から排出される汚泥や処理

水は循環利用されることなく処分されているのがほとんどです。農業集落排水施設は、発生する汚泥をたい肥として周辺農地で有効利用するなど、地域の資源循環活動の中心となり得るものであることから、資源循環の趣旨をより明確にして、その整備にあたるのが農村における循環型社会の形成に役立つと思います。

農村地域の水と有機性資源の循環利用の促進



集排汚泥等のリサイクル計画の策定を要件とする農業集落排水資源循環統合補助事業を創設 (平成14年度予算要求事項)

- ・資源循環施設を計画的に整備し、水と有機性資源の循環利用を促進
- ・今後の新規地区は全てこのリサイクル型の事業に転換

前橋市で「集落排水まつり」開催される

前橋市では、平成13年10月28日「農業集落排水まつり」を開催いたしました。

この催しは、今年が2回目となり、今井地区の農業集落排水処理施設を開放して見学会を行うことにより、地域住民をはじめ多くの市民の皆様にも、集落排水事業の役割や重要性を理解していただくと共に、供用率向上を図ることを目的としたものです。

耳を傾け、パソコンのキーを叩き、子供達は時の経つのも忘れ処理水により飼育された、ザリガニ釣り、メダカや鯉すくいに夢中になり、また、環境に優しいソーラーカーの運転に興じていました。

その合間には、大人も子供も用意された綿あめ、ポップコーンでほっぺを膨らませ、焼きそば、とん汁、焼き鳥で腹一杯で満足感に浸っていたようです。

参加者は、初めて集落排水施設に直に触れ、身近な水のこと、環境のことを考える絶好の機会となり、主催者としては所期の目的は十分に達成されたものと思われま

まつり当日は、前日までの好天とつづいて変わってあいにくの雨模様となり、人の出足が心配されたが、地元を中心とした約600人余りが訪れ大人達は、汚水の浄化の変化に驚き係員の説明に熱心に



「農業集落排水まつり」開催風景



汚水処理方法の説明

平成13年度 群馬県農業集落排水事業連絡協議会 新役員紹介



監事/高山 仁一
(富士見村協議会代表)



監事/中村 勇司
(太田市協議会代表)



副会長/芝崎 完司
(沼田市協議会代表)



副会長/中村 昇
(高崎市協議会代表)



副会長/金井 郁治
(子持村協議会代表)



会長/石原 修治
(前橋市協議会代表)

平成13年6月の總會において新役員が選任されました(任期2年) 監事の高山仁一氏以外は再選されております。

農業集落排水を利用して

粕川村理事 阿久沢初代

わたくしの家の生活排水は、今まで、自宅前を流れる用水路を使用してきました。

わたくしとは、粕川村でも、最初に農業集落排水事業が認可され、最初に処理場の供用を開始した稲里処理区に居住していたことが幸いし、平成9年に自宅を新築するに併せて農業集落排水に接続いたしました。

接続するにあたって、当初、農業集落排水に接続するのに、宅内の工事費がどのくらいかかるのか、また、月々どのくらいの使用料が請求されるのか不安な点は多々ありましたが、これまでのように用水路に放流するわけにもいかず、農業集落排水に接続いたしました。しかし、実際接続し農業集落排水を使ってみると、それまで、定期的にお願していた、浄化槽の点検や、自分なりに気を使ってきた、雑排水の放流についても、あまり気にならず、また、台所やトイレの臭いが無くなり、ハエなどの害虫も自立たなくなるなど身近な生活環境が快適なものとなっています。いまでは、わたくしもの生活には農業集落排水はなくてはならないものになっております。

今後は、汚水処理のことを考え、

利用者の声

少しでも長く、良質な水の再生ができることを願い、自分たちの出す生活汚水を、少なくしていく方向を学んで行きたいと思えます。油で汚れた皿は一度ふき取ってから洗うとか、洗濯洗剤も分解されやすいものに変えるとかちよとした方法でも実践できることからやってみようと思えます。

身近な環境改善を考えて

粕川村理事 池田郁子

私は、粕川村で初めて農業集落排水事業が実施された稲里処理区内に居住しております。汚水処理場も私の家から150メートル程の位置に建設されており、身近に感じております。

当地区は、平成9年より供用が開始になったのに合わせて、農業集落排水に接続いたしました。接続時には、私の家では浄化槽が2カ所あったため、配管工事に多少工事費がかかりました。が供用開始早々に接続しました。

農業集落排水に接続して日頃、心がけていることは、台所の調理くずを流さないこと、食器やフライ

パンの汚れを拭き取り、風呂場や洗面所では髪の毛を流さない、洗濯では洗剤の適量使用、トイレ専用ペーパーの使用などに注意しております。

粕川村でも、2番目の処理施設も完成し供用開始となり、3番目の処理施設も建設が始まっていると聞いております。これで粕川村の3分の1位の地域で家庭からの雑排水の直接的な放流がなくなり、身近な水路や川が少しづつきれいになっていくものと思えます。

身近な環境の小さな改善が、粕川村全体の環境の改善につながる。住民一人一人のちよとした心がけがよりよい環境を持続させる。そのちよとした心がけを私たちが大切にしてゆきたいものです。

使用してみてもわかる排水処理施設

粕川村理事 松井千恵子

私が住む赤堀町鹿島地区は、町で一般家庭等における下水道整備が、一番最初に農業集落排水事業(曲沢地区)により整備が進められ、平成3年9月から使用出来るようになったところです。

今から思うと、公共の下水道施設がなかった頃の私の家庭では、トイレは汲み取りであったので、暖かい時になるとトイレの周りに「ハエ」が頻繁に発生し、それを駆除するため、殺虫剤をこまめに使用して退治してきました。それでも悪臭や「ハエ」の発生をなくすことは出来ませんでした。

特に子供達はいやがってトイレに行くことさえも拒んでいた状況でした。

また、誰もが大変に忙しい時期であったので、その消毒や清掃を誰がするのかと家庭の中でけんかが始まる騒ぎでした。

雑排水についても、庭の隅に溝を掘り地下浸透させていたのですが、地質の関係などですぐに浸透しなくなり、汚い水が溜まり、そこに「ボウフウ」が湧き、蚊が大量に発生して、子供達は「蚊」に刺されて「お母さん！かゆい・かゆい」の大騒ぎで、親として子供達が可哀想で、この状況を何とかしなければと日々悩みました。

これらを解決する住環境を改善するため、一日も早く町から処理施設供用開始の説明会を待ち望んでいた一住民でありました。

そこで、私の家庭では町の処理施設供用開始の時期に合わせて、宅内工事の費用を計画的に積み立てをする事としました。

その積み立て計画の話し合いの中で、現在トイレにかかる費用などと農業集落排水事業の使用料金との比較をして見たり、河川などの下流域のことなどを話し合った思いがあります。

私の家に隣接する家庭も皆さん町の農業集落排水処理施設を利用しているので、私の家では「ハエ」や「蚊」がほとんど発生しない生活環境となり、衛生的で住み良い環境が実現でき、今までの家庭での面倒な清掃作業や悩みを解決する事が出来ました。

絵画コンクール推薦作品紹介

全国農業集落排水事業推進協議会が実施した絵画コンクール(小学生対象)に、県内から59作品の応募があり、このうち4作品を本協議会からの推薦作品としましたので紹介いたします。

富士見村立石井小学校 4年生 小此木 皇人くん



テーマ 「きれいな川で遊んでいる様子」

伊勢崎市立殖蓮小学校 4年生 川端 剛広くん



テーマ 「田植えに夢中になっているほく」

富士見村立石井小学校 4年生 木暮 良佑くん



テーマ 「お父さんといっしょにハイキングに行き、大自然に出会う」

富士見村立石井小学校 4年生 阿部 史佳さん



テーマ 「いろいろな魚が住んでいる楽しい川」

浴室・トイレのおそうじ方法

水回りの材質は年々変化していますが、わが家の材質を知り、適切な洗剤や道具を使い、定期的または、汚れに気づいたら直ぐに、そうじする習慣を身につけましょう。水は、みんなの財産、一人一人が上手に、無駄のないような使い方に心がけましょう。

★浴室のそうじ

- ★浴槽…湯をぬいた直後に、「浴室用洗剤」をかけて1～2分置くと、汚れが落ちやすい。
- ★洗面器、イス…「浴室用洗剤」か「クレンザー」をかけてスポンジでこする。
- ★壁・床…プラスチック材→「浴室用洗剤」か「浴室用微粒子クレンザー」をつけて柔らかいスポンジで洗う。
タイル→「浴室用洗剤」か「浴室用微粒子クレンザー」をつけて、ブラシで洗う。

★トイレのそうじ

水洗トイレの場合、汚れの9割が無機汚れなので、無機汚れを落とす力の強い、酸性洗剤の方が効果的。

- ★便器…「トイレ用洗剤」か「消臭スプレー」を直接着け、柄付きブラシでこすり、後は水で洗い流す。(フチの裏側もていねいに！)
- ★便座・フタ…「消臭スプレー」などを汚れにスプレーして、トイレトペーパーで拭き取るか、「除菌ペーパー」などでそのままふき取る。

群馬県農業技術課専門技術員 清水千鶴



- 発行所
群馬県農業集落排水事業連絡協議会
- 事務局
群馬県土地改良事業団体連合会
〒371-0837 前橋市前田町350番地
TEL.027-251-4105
- 編集人
石原修治
- 印刷
(株)アルファ企画

平成12年度 事業報告 (平成12年4月～平成13年3月)

- | | |
|----------|--|
| 平成12年 4月 | ・監事会及び監査・代表幹事会及び役員会 |
| 5月 | ・研修会及び第10回通常総会 |
| 5月～7月 | ・農業集落排水事業に関する絵画コンクールの実施(県内) |
| 9月 | ・機関紙「ぐんま集排だより」(第5号)編集委員会
・農業集落排水事業に関する絵画コンクール審査結果発表(全国) |
| | ・全国農業集落排水事業推進協議会第10回通常総会 |
| 11月 | ・現地研修会(長野県宮田村、長野県高山村) |
| 12月 | ・役員会・機関紙「ぐんま集排だより」(第5号)41,000部発行 |
| 平成13年 2月 | ・代表幹事会 |